

(別冊)

2020年1月15日

2020年度
(令和2年度)

国内放送番組編集の基本計画
(案)

放送総局

編集の基本方針

NHKは、総合テレビと教育テレビの放送をインターネットでもご覧いただくことが可能になる「常時同時配信」、そして放送後一週間はインターネット上でいつでも番組をご覧になることができる「見逃し番組配信」を実施します。

不確かな情報の拡散が社会問題となっている今、長年培ってきた取材・制作力によるニュースや番組・コンテンツを、放送の補完としてインターネットを通じて提供し、公共的価値を広く還元したいと考えます。

みなさまの期待にしっかりと応えるために、NHKはこれまでと変わることなく放送法で定められた公共放送の基本姿勢を堅持します。自主自律と不偏不党を貫いて、正確な情報を公平・公正に伝え、多彩で質の高い番組を追求していきます。

2015年に公表した経営計画では、「2020年に最高水準の放送・サービスの実現をめざす」ことをビジョンに掲げました。臨場感あふれる超高精細の映像と迫力ある音響によるBS4K・BS8K放送と、新たなインターネットサービスでビジョンを実現し、新たな時代の暮らしに貢献していきます。

2020年度は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。日本で開催される大会の魅力を余すところなく伝えるとともに、今後の社会にもたらす価値や影響についても積極的に取り上げます。

2021年3月には、東日本大震災から10年の節目となります。いまだ多くの課題を抱える被災地に寄り添い、復興を支援していくとともに、「災害から命を守り、安心できる暮らしに貢献する」ことを、最優先の使命とします。

摩擦が絶えない国際情勢、地球規模の気候変動、日本における少子高齢化の加速など、乗り越えなければならない課題が山積しています。持続可能で心豊かに暮らせる社会を実現するために、こうした課題にしっかりと向き合い、多角的な視点からじっくりと考えます。

みなさまの声を踏まえて、“公共メディア”の姿を追究し、業務の見直しと改革を進め、身近で信頼されるNHKへの進化を目指します。

編集の重点事項

1. 災害から命を守り、安心できる暮らしに全力で貢献

大地震や津波、超大型台風や短時間に局地を襲う豪雨、記録的な猛暑や寒波など、私たちの命と暮らしが自然の脅威にさらされる事態が頻発しています。2020年度は、東日本大震災から10年の節目となります。全国の放送局と本部が連携してテレビとラジオ、インターネットそれぞれの特性を生かしながら、日頃から防災・減災に取り組むとともに、災害時には状況を的確に伝え、全力で身を守るための情報を発信します。

テロリズムや悪質な事件・事故などの脅威、いじめや児童虐待などの社会問題などにも焦点をあて、一人でも多くの人を守るための情報をインターネットも活用しながら発信します。

公共メディアとして、「命と暮らしを守る」ことを最優先の使命として不断に取り組み、安全で安心できる暮らしに貢献します。

2. 持続可能な社会を見据え、日本と世界の課題を深く正確に発信

世界の潮流やグローバル経済の動向、地球規模の環境変化、日本の少子高齢化に伴う急速な人口減少、医療、介護や年金をはじめとする社会保障のあり方など、持続可能な社会の実現に向けて課題が山積しています。国民の一人一人がこうした課題に向き合い、事実に基づいて正確に理解し、解決への道筋を考え、具体的な方策を実現することが求められます。

NHKは、正確で公平・公正な情報を、早く、深く、わかりやすく伝え、判断のよりどころとなる「情報の社会的基盤」の役割を果たします。意見が対立している問題については、多くの角度から論点を明らかにし、広く議論の場も設けます。国民の政治への関心を促し、民主主義の発達に寄与します。

インターネットも活用して、視聴者のみなさまからの情報提供だけでなく、番組への参加も積極的に進めます。

3. 多彩で質の高い番組・コンテンツを、幅広い視聴者に提供

正確で信頼できる情報と質の高い番組・コンテンツを開発し、多彩なジャンルで視聴者の期待と関心に応えます。

多くの人にご覧いただく機会を作るために、一度放送した番組の素材を、切り口を変えて提供する「マルチユース」も推進します。インターネットサービスでは、取材過程で得られた情報も含め、番組関連コンテンツの提供を行います。「公共的価値」をしっかりと届ける編成をめざします。

各放送波の役割とインターネットサービスの特性を踏まえて、視聴・活用しやすい番組・コンテンツの提供に努めます。

4. “東京2020”の機会を生かし、その先の文化創造に貢献

東京オリンピック・パラリンピックは、スポーツを通じて多くの人たちと感動を共にできる2020年度最大のイベントです。世界の人たちに日本の文化・芸術・科学技術をはじめとする魅力を深く知ってもらうとともに、日本の人たちも世界の多様な文化や価値観を学ぶことができる絶好の機会です。

NHKは、「4つの約束」(①スタジアムの興奮を日本全国で体感できます。②いつでもどこでも決定的瞬間をお届けします。③日本をひとつにつなぎます。日本が世界につながります。④共生社会の実現に貢献します。)を掲げて“東京2020”に取り組みます。

2020年3月から始まる聖火リレーや日本各地の国際交流、選手の活躍などを伝えるとともに、浮かび上がる課題にも向き合い、その先の時代の社会と文化の向上・発展に貢献します。

5. 多様な価値を認め支えあう社会をめざした放送・サービスを充実

誰もが人格と個性を尊重し支えあい、多様なあり方を相互に認め合うことで生まれる全員参加型の活力あふれる社会、いわゆる「共生社会」の実現に貢献するために、放送・サービスを充実させます。

障害者、LGBT、外国人をはじめ多様な人たちが、ありのままの姿で積極的に役割を担って生きることができる社会の実現には、どのような課題があり、どのように取り組めばいいのか。教育や福祉はもちろん、さまざまな分野の番組で考え、実践します。

字幕放送・解説放送・手話放送を計画に基づき充実させるとともに、さらに見やすく、聞きやすく、安心して視聴できるユニバーサル放送・サービスの充実に取り組みます。

6. 地域放送局と本部が連携して、地域の活性化と暮らしに貢献

全国各地の放送局は地域で暮らす人の視点から、役立つ情報や関心の高いテーマ、固有の課題などを積極的に取り上げ、地域社会に貢献します。

全国放送では、地域で制作した番組も積極的に伝えます。豊かな自然・文化・人々の営みなど地域の魅力を全国に広く発信します。

地域経済や地方分権など各地に共通する課題については、地域放送局と本部を結ぶネットワークをフルに活用して、解決に向けた道筋を考えます。

大規模災害時には、全国放送と地域放送それぞれの役割を踏まえて、迅速かつ的確に最新の状況を伝えるとともに、インターネットも活用して、命と暮らしを守るためのきめ細かな情報提供に全力を尽くします。

7. これからの社会を担う若年層や子どもの教育、健全な育成を支援

豊かで活力と希望にあふれる社会を構築するには、これからの時代を担う若年層や子どもの興味・好奇心を尊重し、正確な知識をもとに“考える力”を育てることが重要だと考えます。

NHKは「若年層や子どもの健全な育成への支援」を、これからの社会における公共メディアの重要な使命として改めて位置づけて、重点的に取り組みます。若い世代のさまざまな好奇心・興味を入り口に、安心して視聴することができる多彩な番組・コンテンツを充実させ、放送だけでなくインターネットも活用して提供していきます。

8. 日本と世界の相互理解を促進する発信を強化

国際社会との相互理解を進めるため、世界の情勢や各国の動向を正確な情報で伝えます。世界各地の魅力あふれる大自然や文化、芸術、最先端の技術などを、4Kや8Kの映像も活用して、さまざまな番組で紹介します。日本の魅力や文化についても番組やコンテンツの国際展開などを通じて、広く世界に発信します。

また、日本にいる外国人が災害情報や地域の情報を得られるように、国際放送と連携した編成や外国語によるニュースの発信、デジタルサービスによる提供などを行い、日本への理解促進に貢献します。

以上の重点項目は、次のような施策も勘案しながら実施します。

- これまでの質的、量的評価の手法に加えて、公共放送として果たすべき役割（公共的価値）の実現度を測る評価指標を開発・試行し、より適切な資源管理を行いながら、視聴者の期待に応えます。
- 放送倫理やコンプライアンス意識を徹底し、長年培ってきた取材力・制作力を発揮して、事実に基づく確かな情報の提供と質の高い番組の制作に努めます。
- NHKの業務に携わるすべての人の健康確保に留意して、創造的で活力ある職場を構築するために、業務フローの抜本的見直しなど働き方改革やダイバーシティ施策の推進、職場環境の整備に取り組みます。
- 2K・4K・8K番組の一体制作、国際放送向け番組や地域向け番組の全国放送での編成など、さまざまな放送波・時間帯での番組のマルチユースを進め、限られた経営資源を効果的・効率的に活用します。

各波の編集方針

総合テレビジョン

基幹波として、安全・安心を守る報道に全力をあげて取り組み、何人からも干渉されない放送の自主自律と不偏不党を貫きます。また、インターネットによる放送の常時同時・見逃し番組配信が始まろうとする新たな時代、公共メディアの実現に向けて、公平・公正で社会の指針となるニュースや番組、娯楽・文化・スポーツなどの多彩な番組を充実させます。さまざまな手法で社会的な課題の解決に取り組むキャンペーンを展開します。東京オリンピック・パラリンピックは、数多くの競技中継や関連番組を通じ、大会の盛り上げに寄与するとともに、幅広い視聴者の関心に応えます。これからのNHKの顔となる番組や見る人の心を躍らせる番組、若年層のインターネットでの接触を意識した新たなコンテンツの開発に取り組みます。また、地域の発信力を高め、地域サービスの向上を図ります。

(編集のポイント)

1. 幅広い世代、特に現役世代、ネット世代の接触を増やすため、ご覧いただきたい視聴者層を想定した多彩な番組をバランスよく提供
2. 東京オリンピック・パラリンピックに関しては、聖火リレーや競技中継、関連番組を数多く編成
3. 新たな時代のNHKの顔となる番組、インターネットやデジタル技術を活用した番組の開発・強化
4. BS4K、BS8Kや国際放送などNHKのさまざまな番組を編成
5. 地域放送の充実と地域情報の全国発信を推進し、地域サービスを向上

〔放送時間〕

○1日24時間を基本とします。

〔放送番組の部門別編成比率〕

○定時番組について、教養番組20%以上、教育番組10%以上、報道番組35%以上、娯楽番組20%以上を編成します。

教育テレビジョン（Eテレ）

教育、福祉などの重要課題に加え、語学・教養・趣味・食・健康など多彩な番組を編成し、教育放送として幅広い世代の「知りたい」「学びたい」に応えます。番組とインターネットサービスとの連携を充実させ、子ども・若者の接触拡大を図るとともに、視聴者の多様な期待に応え、人々の暮らしに寄り添う放送を目指します。

（編集のポイント）

1. 教育、福祉、防災などの課題への総合的取り組み
2. 教育現場のICT化に対応し、新時代を生きる子どもたちの学びを支えるコンテンツを整備
3. 生活に密着した安心な情報を提供する健康・子育て番組、人生を豊かにする趣味実用・教養番組の充実
4. デジタルコンテンツやイベントと連携し、“見る”だけでなく“体験”を促すサービスを展開
5. “東京2020”への機運を高めるとともに、多様性を認め合い、“ともに生きる”社会の実現に貢献

〔放送時間〕

○1日20時間を基本とします。

〔放送番組の部門別編成比率〕

○定時番組について、教養番組15%以上、教育番組75%以上、報道番組若干を編成します。

BS1

“ライブ感あふれる情報チャンネル”として、「スポーツ」「ドキュメンタリー」「国際」「地域」の各分野を充実させ、刻々と変化する視聴者の関心事に最大限に応えます。

東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げるためのさまざまな関連番組を編成し、多角的に伝えていくとともに、大会後は“東京2020”への取り組みを通じて得られた知見や成果を継承し、新しいスポーツ番組の開発を行います。

また、地域関連番組にも力を入れ、豊かな日本の魅力を発信するとともに、地域固有の課題を広く伝えます。

(編集のポイント)

1. “東京2020” へ向け、幅広いオリンピック・パラリンピックの関連番組を編成し、高まるスポーツ熱や関心に応える
2. “東京2020” 大会後、新たなスポーツの魅力を伝える番組や、新演出を取り入れた番組の開発を進め、幅広い視聴者に届けることを目指す
3. 世界や日本の今を伝えるドキュメンタリー・報道番組の強化
4. 地域の魅力や課題を取り上げる番組の充実

〔放送時間〕

○1日24時間を基本とします。

〔放送番組の部門別編成比率〕

○定時番組について、教養番組20%以上、教育番組10%以上を編成します。

BSプレミアム

個性と見応えを追求した多彩な知的エンターテインメント番組を提供します。宇宙や大自然、芸術、教養、趣味など、さまざまなジャンルの番組で“スケール感”“本場”“一流”“最前線”にこだわり、格別な満足感を得られるチャンネルを目指します。

(編集のポイント)

1. BS4Kでの放送も前提に、新しい演出の番組を開発
2. 幅広い視聴者層を満足させる、週末の大型特集番組の充実
3. 東京オリンピック・パラリンピック期間中も多彩なジャンルの番組を編成
4. 地域の魅力を発信する番組の充実

〔放送時間〕

○1日24時間を基本とします。

〔放送番組の部門別編成比率〕

○特に定めない。

BS4K

4Kの機動力と高画質の魅力を生かした幅広いジャンル番組を提供し、超高精細映像チャンネルの先導的な役割を果たします。東京オリンピック・パラリンピック期間中は、競技中継などを通して4Kの魅力を伝え、BS4Kのさらなる普及を目指します。

(編集のポイント)

1. 2Kと4Kの一体制作を推進し、多彩なジャンルの番組を編成
2. 4Kの機動力を生かした独自の大型企画を充実
3. 他チャンネルの番組を一部先行放送し、視聴者サービスを拡充

〔放送時間〕

○1日18時間を基本とします。

〔放送番組の部門別編成比率〕

○特に定めない。

BS8K

全く新しい視聴体験に挑戦する世界最先端メディアとして、未知なる映像文化を切り開く番組を提供し、“NHKのフラッグシップ”チャンネルを目指します。東京オリンピック・パラリンピックでは、8K独自制作でその特性を生かした臨場感あふれる中継を行い、最高水準の放送サービスの実現に寄与します。

(編集のポイント)

1. BS8Kの認知度の向上を図るため、月ごとにタイムリーなテーマを設け、関連番組を集中的に編成
2. スタジアムやコンサートホールの特等席にいるかのような“臨場感”を体感できる大型中継や収録番組を編成
3. 後世に残したい文化財の記録など、8Kならではの特性を発揮できる公共メディアの役割を追求

〔放送時間〕

○1日12時間10分を基本とします。

〔放送番組の部門別編成比率〕

○特に定めない。

ラジオ第1放送

安全・安心を担う“音声基幹波”として、命と暮らしを守る情報を届けます。彩り豊かな番組や地域発の情報を充実させ、幅広い世代の関心に応えます。東京オリンピック・パラリンピックではさまざまな競技の中継に加えて、スポーツやアスリートの奥深さに迫る番組などで、大会を盛り上げます。また、インターネットラジオ「らじる★らじる」のサービス向上や「読むらじる。」の充実などデジタル展開を一層進めます。

〔放送時間〕

○1日24時間を基本とします。

〔放送番組の部門別編成比率〕

○定時番組について、教養・教育番組あわせて25%以上、報道番組35%以上、娯楽番組20%以上を編成します。

ラジオ第2放送

生涯学習波として、多様な知的欲求に応える番組を編成します。また、語学番組の充実を図るとともに、多言語ニュースを強化し、加速する国際化に対応します。インターネットサービスとも効果的に連携し、“いつでも”“どこでも”学べる機会を提供します。

〔放送時間〕

○1日19時間を基本とします。

〔放送番組の部門別編成比率〕

○定時番組について、教養番組15%以上、教育番組65%以上、報道番組10%以上を編成します。

FM放送

“総合音楽波”として、多様で多彩な音楽・芸能ジャンルの番組を編成し、リスナーの関心に応えます。さまざまな世代に、音楽により親しんでもらうことを目指し、人気番組やクラシック番組を拡充します。災害など緊急時には、ラジオ第1放送とも連携して機動的な編成を行い、地域情報波として、ライフラインを中心にきめ細かな情報を提供します。

〔放送時間〕

○1日24時間を基本とします。

〔放送番組の部門別編成比率〕

○定時番組について、教養・教育番組あわせて40%以上、報道番組10%以上、娯楽番組25%以上を編成します。